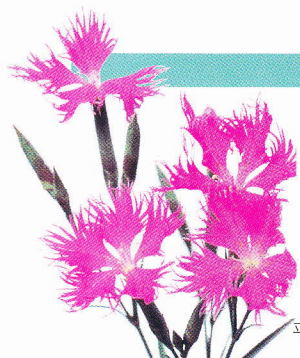




済生会ニュース

平成22年7月1日発行 三重県松阪市朝日町一区15番地の6 TEL 0598-51-2626(代)/FAX 0598-51-6557
http://www.matsusaka.saiseikai.or.jp

院外版



地域画像ネットワーク

放射線科 里見 知恵子

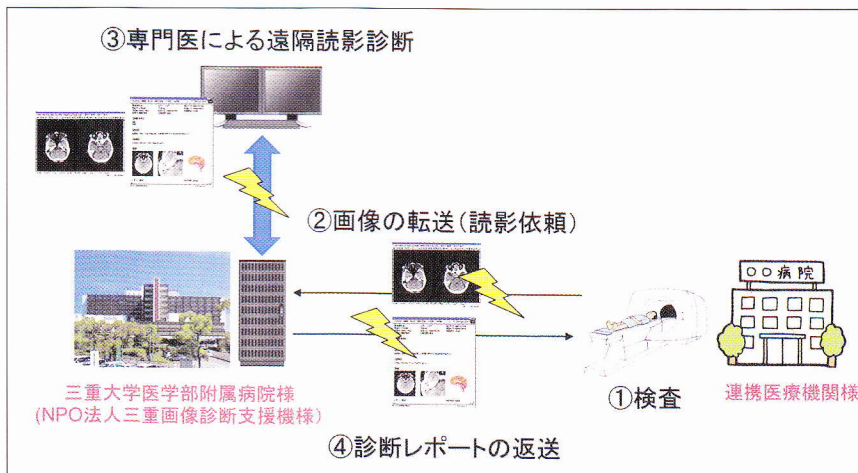
以前は、レントゲンフィルムが画像診断の基本でしたが、最近では、一般X線撮影、CT、MRI、PET、超音波などのデジタル画像が診断画像の主流となり、運用にあたっては2000年頃からPACS(Picture Archiving and Communication System)というネットワークシステムが実用化・普及しています。PACSの基本概念は①画像をモニターで見る②データ配信はネットワークを用いる③データの保存は電子的に行う④医療機関同士のデータの配信もネットワークを用いる、これらの4つです。

当院でも昨年5月からこのPACSによってフィルムレス化が行われ、フィルムの搬入・搬出や保管・管理に人の手を介することがなくなり、画像の運用が円滑になりました。また、当科では地域医療機関からの紹介でCT、MRI、PETを撮影・読影することを日常業務として行っていますが、最近ではPACSを導入している施設が増え、フィルムではなくCD-ROMでのデジタルデータをやり取りすることが多くなってきています。PACSの概念からすると、医療機関同士がネットワークを組むことで、CD-ROMを介さずインターネット上で画像を共有し、閲覧することが理論上可能で、他府県の一部の病院では中核病院と地域の医院やクリニックとネットワークを組み実用化しているところもありますが、情報セキュリティ上のリスク(特に個人情報の漏洩)を伴うこともあり、当院ではそこまでのシステムは構築されていません。

一方で、この医療機関同士のネットワークに関して、2004年6月に三重大学医学部画像診断科内に「三重画像診断支援機構」(NPO法人)が設置されました。この機構では三重県内の「中・小規模」の医療機関とネットワークを組み、個々の医療機関で撮影された画

像を三重大学医学部放射線科の医局員が診断する支援を行っています。これにより専門医が不在の病院でも高度な診断サービスを受けることが可能になりました。この関連で、当院は放射線科医が4人在籍する県内でも恵まれた環境にあることから、今年4月より南勢地区の中核病院として、三重画像診断支援機構の一員となり、関連病院である済生会明和病院の遠隔診断を担うこととなりました。具体的な仕組みは、個々の医療機関で撮影された画像が一旦大学のサーバー内にすべて転送・保存され、このサーバーから専用の読影端末で画像を読み込み、レポートを作成することで、個々の医療機関でレポートの閲覧が可能になっています。レポートはほとんどが撮影された当日には作成されるため、時間的にも内容的にも中核病院にいるのと遜色がない程になっています。

今後の展望としては、遠隔地画像診断のサポートに関しては大学側に依存する形になると思われますが、近隣の地域医療支援を推進していくためには地域の医院やクリニックと医用画像情報やカルテを共有するシステムを率先して構築していくことが、中核病院としての役割であり課題ではないかと思われます。



理念

ところからの医療と福祉
「救療済生」の精神に基づいた、ところからの医療と福祉を提供いたします。

目標

地域の人々の健康と幸せのため、豊かな保健・医療・福祉の向上と急性期医療の充実を目指します。

患者様の権利

- 患者様の意思及び人権が尊重される権利
- 公正で適正な医療を受ける権利
- 医療上の情報、説明を受ける権利
- 医療行為を選択する権利
- プライバシーが保障される権利



知って得する病気の話

メタボリックシンドロームと肝疾患

内科 橋本章

メタボリックシンドロームとは内臓脂肪蓄積により、糖尿病、脂質異常症、高血圧症といった動脈硬化症の危険因子をいくつも併せ持った状態のことをいいます。診断基準としてはウエスト周囲径が男性で85cm以上、女性で90cm以上であり、1. 中性脂肪150mg/dl以上もしくはHDLコレステロール40mg/dl未満2. 収縮期血圧130mmHg以上もしくは拡張期血圧85mmHg以上3. 空腹時血糖110mg/dl以上のいずれか2つ以上が当てはまる状態をいいます。

脂肪性肝疾患とは肝細胞に中性脂肪が沈着して肝障害をきたす疾患で、一般的には脂肪肝と呼ばれています。このような疾患は以前はアルコールによる肝障害が多く報告されていましたが、いわゆるメタボリックシンドローム、糖尿病、肥満（BMI25以上）、脂質異常症（昔の高脂血症）、高血圧症などによっても同様な肝障害が起こることがわかり、飲酒歴のないこのような疾患を非アルコール性脂肪性肝疾患（NAFLD）と呼んでいます。検診ではNAFLDの頻度は8%であり決して珍しくありません。

以前はNAFLD（いわゆる脂肪肝）はそれ以上悪化しない無害な病気と考えられていました。しかしその考え方は間違いで、NAFLDの10%は非アルコール性脂肪性肝炎（NASH）と呼ばれる肝炎に病態が進行します。結果として全人口の約1%がNASHに移行する可能性が考えられます。更にNASHのおよそ5～20%が肝硬変症に進展するとの報告があります。

検診でメタボリックシンドローム、糖尿病、肥満、脂質異常症、高血圧症などの既往歴があり、一般生化学検査でAST、ALTの軽度上昇、腹部超音波検査で脂肪肝を指摘された方は要注意です。特に血液検査で血小板の低下があれば一度肝臓専門医の診察を受けて下さい。

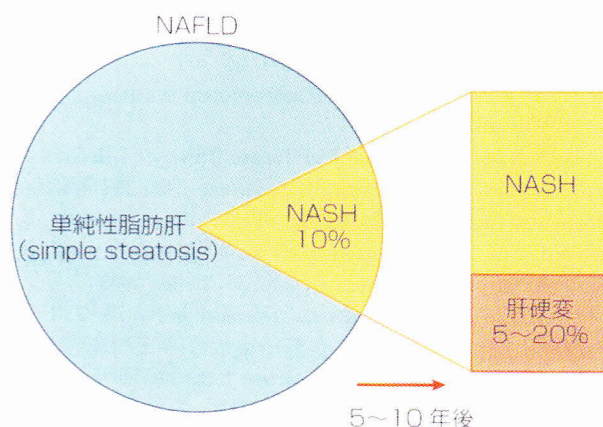


図1 NAFLDの病態

NASH・NAFLDの診療ガイド 日本肝臓学会

平成22年度新人職員野外研修会に参加して

1年目研修医 丸山実輝

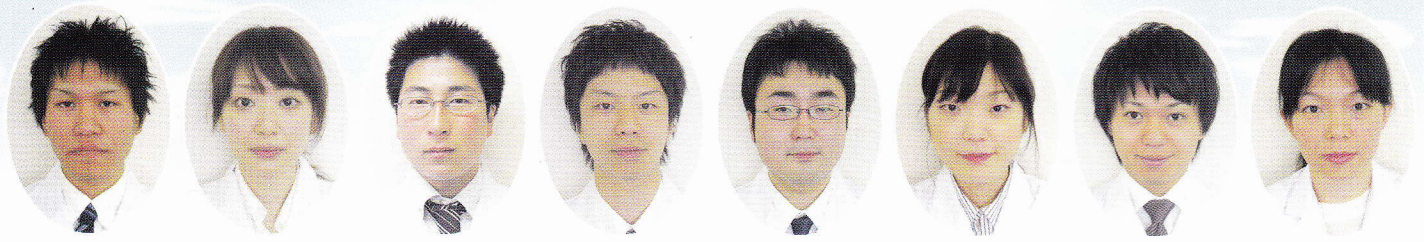
青葉若葉がすがすがしい5月下旬、奥伊勢フォレストピアにて新人野外研修会が行われました。周りを新緑に囲まれ、川のせせらぎや野鳥の声が聞こえてくる素晴らしいその場所で、私たちは1泊2日の研修会に参加させていただきました。初日は㈱メディセオ 水間泰彦先生を講師にお招きして「接遇」についてお話いただきました。接遇は社会人として必要不可欠なものです。私たち病院人はその職種上、他のサービス業に比べてどうしても接遇の意識が薄れてしまう恐れがあります。しかし、体や心に不安を抱えている人にとって、我々の言動が与える影響は大きいものです。ゆえに、常に相手を敬う姿勢を忘れず、接遇の心で対応することが求められるのではないのでしょうか。しかし社会に出たばかりの我々にとって実際に接遇をするということは簡単なものではありません。水間先生の講義では、グループワークを通して実際の接遇のあり方について学ばせていただきました。この経験を通して、実際の現場において接遇とは何なのか、果たして自分は出来ているのか、ふと立ち止まって振り返るきっかけが得られたように思います。そして、研修のもう一

つの目的でもある、新人同士の交流はこけ玉体験や陶芸体験などを通して深めることが出来ました。同じ病院で働いていても、職種が違えば話す機会が少ないのも必至で、実際に研修会で初めて言葉を交わしたという人も多かったように思います。仕事の話から、普段は出来ないようなプライベートな話まで、一年目同士で夜遅くまで語り合い、とても楽しく有意義な時間をおくることが出来ました。この交流を通して仲間意識を持つことが出来たと同時に、コミュニケーションを通して積極的に情報の共有を行うなど、良いチーム医療にもつながっていきたいと思います。



研修医紹介

現在8名の研修医が1年目研修としてがんばっています。
外来、病棟、救急等で見かけることがあると思いますが、
よろしくお願い致します。



蟹井善統 丸山実輝 山本貴之 市川健 石山将希 中村まどか 刀根慎恵 湊澤麻衣

■ 外来診療担当表

(2010年7月1日)

● 受付時間 8:00~12:00 (診療科と曜日によって多少変更あります)

★担当医は変更になることもあります。 ● 休診日 土・日曜日、祝祭日、年末年始(12/30~1/3)、創立記念日(5/30)

		月	火	水	木	金
内 科	一診					
	二診	須川 正宏	李 由紀	垂見 敏明	須川 正宏	稲垣 悠二
	三診	保田憲基 (午後) (予約のみ)	稲垣 悠二	山脇 弘二	加藤 慎也	保田 憲基
	四診	橋本 章	橋本 章	脇田 喜弘	西川健一郎	福家 洋之
	五診	清水 敦哉	上村 泰弘	上村 泰弘	福家 洋之	上村 泰弘
	六診	垣本 齊	南川 光三	西川健一郎	小林 稔彦	南川 光三
	七診 消化器外来	中島 啓吾	清水 敦哉	中島 啓吾	清水 敦哉	脇田 喜弘
	八診 循環器外来	加藤 慎也	垂見 敏明	垣本 齊	保田 憲基	山脇 弘二
外 科	一診	藤森 健而	長沼 達史	長沼 達史	近藤 昭信	田中 穰
	二診	田中 穰	近藤 昭信	伊藤 貴洋	河埜 道夫	長沼 達史
	午後		外科医師 (肛門)			外科医師 (乳腺)
健診センター(乳腺外来)		李 由紀	柏倉 由実			
脳 神 経 外 科	一診	諸岡 芳人	川北 文博	諸岡 芳人		諸岡 芳人
	二診	村田 浩人	土屋 拓郎	村田 浩人	土屋 拓郎	川北 文博
整形外科	一診	今原 敏博	交 代	竹上 謙次	竹上 謙次	今原 敏博
	二診	友田 良太		森本 政司	友田 良太	森本 政司
	三診	飯田 竜		松井佑梨世	飯田 竜	松井佑梨世
	午後			乳児検診(要予約) (4ヶ月)	竹上謙次(腰痛外来) (要予約・紹介のみ)	
産婦人科	午 一診	高倉 哲司	長澤理映子	高倉 哲司	菅谷 健	竹内 茂人
	前 二診	竹内 茂人	高倉 哲司	長澤理映子	長澤理映子	高倉 哲司
	三診				竹内 茂人	
	午後 一診			高倉哲司(1ヶ月検診)		
	二診		手 術		手 術	手 術
	三診			乳房外来(要予約)		
ART・生殖医療センター (完全予約制)	午 一診再診	菅谷 健	菅谷 健	菅谷 健	菅谷 健	菅谷 健
	前 二診再診	竹内 茂人	竹内 茂人	竹内 茂人	竹内 茂人	竹内 茂人
	午後 一診新患	菅谷 健		菅谷 健		
	二診新患	竹内 茂人	手 術	竹内 茂人	手 術	手 術
	夕 一診再診	菅谷 健		菅谷 健	手 術	菅谷 健
	診 二診再診	竹内 茂人		竹内 茂人	竹内 茂人	竹内 茂人
小 児 科	午前	老谷 嘉市	老谷 嘉市	老谷 嘉市	老谷 嘉市	老谷 嘉市
	午後		予防接種	乳児検診 (1ヶ月・4ヶ月)	老谷 嘉市 14:00~16:00 (第1木曜) 14:00~15:00 アレルギー外来(第1木曜)	乳児検診 (7ヶ月以降)
眼 科		眼科医師	眼科医師	眼科医師		
皮 膚 科			大学医師 受付10:00まで	フットケア外来(午前) (要予約)		
耳 鼻 咽 喉 科		大学医師		大学医師	大学医師	
泌尿器科	一診	森 脩	小川 和彦	森 脩	柳川 眞	金原 弘幸
	二診(新患)	小川 和彦	柳川 眞	金原 弘幸	小川 和彦	柳川 眞
神経内科	一診	坂井 利行	近藤 昌秀	坂井 利行	近藤 昌秀	神経内科医師
	二診	由井進太郎		大学医師(午前)	由井進太郎	由井進太郎
麻 酔 科		宮村とよ子 車 武丸	宮村とよ子 車 有紀	宮村とよ子 車 武丸	宮村とよ子 車 有紀	宮村とよ子 車 武丸
放射線科		寺田尚弘/海野真記	中川 俊男	加藤 幹愛	中川 俊男	中川 俊男
	放射線治療		笹岡 政安(午後)		野村美和子(午前)	
口 腔 外 科		佐藤 耕一	佐藤 耕一	佐藤 耕一	佐藤 耕一	佐藤 耕一
		上田 貴史	上田 貴史	上田 貴史	上田 貴史	上田 貴史